

ナンバリングコード 授業科目名 (時間割コード: 912010) 学校教育における今日的課題～道德教育 及び特別支援教育の視点から～	科目区分	時間割 前期集中	対象年次及び専攻 1～教育学研究科 高度教職実践専攻
	水準・分野	DP・提供部局 ABCL	対象学生・特定プロ グラムとの対応
	授業形態 Lg	単位数 1	
担当教員名 植田 和也, 武藏 博文	関連授業科目		
	履修推奨科目		
学習時間 講義90分×8回+自学自習			
授業の概要 学校教育の今日的課題として、生徒指導と道德教育に関する指導力に育成、通常の学級に在籍する発達障害等の可能性のある児童生徒に対する指導支援がある。本講義は、生徒指導・道德教育と特別支援教育の視点から、新たな知見を提案し、実践的な教育課題の解決に向けた提案を行うものである。 *本科目は、単位互換協定により、鳴門教育大学及び愛媛大学への提供科目である。本学教育学研究科の学生は履修できない。			
授業の目的 道德教育の視点からは、道德科を要として道德教育の推進が求められていることについて理解するとともに、具体的な計画や教材を用いての校内研修の在り方や工夫等について理解する。また、特別支援教育の視点からは、発達障害児が示す学習の困難とそれに対する指導法について理解する。音声言語学の基礎から、言語・コミュニケーションの発達とその困難、支援の観点と方法について理解する。			
到達目標			学習・教育到達目標 (工学部JABEE基準)
<ul style="list-style-type: none"> ・道德科を要として道德教育の推進が求められていることについて理解する。 ・道德科の具体的な計画や教材を用いての校内研修の在り方や工夫等について理解する。 ・発達障害児が示す学習の困難について理解する。 ・言語コミュニケーションの発達とその困難、支援の観点と方法を理解する。 			
成績評価の方法と基準 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニレポート ・グループ演習での作業等 ・小テスト 			
授業計画並びに授業及び学習の方法 第1回：道德科を要として求められる道德教育の推進 (担当：植田和也 清水顕人) 第2回：道德教育に関する多様な校内研修の在り方について (担当：植田和也 清水顕人) 第3回：道德教育の推進体制と特色ある推進の事例等 (担当：植田和也 清水顕人) 第4回：教科学習で生じる学習・行動面のつまずきと個に応じた指導 (担当：武藏博文) 第5回：学習・行動上のつまずきを考慮した個に応じた指導のあり方 (担当：武藏博文) 第6回：言語・コミュニケーションの発達とその困難 (担当：武藏博文) 第7回：話す・聞く のアセスメント (担当：武藏博文) 第8回：つまずきの特性に応じた指導プログラム (担当：武藏博文)			
教科書・参考書等 (教) 七條正典・植田和也他編「道德教育に求められるリーダーシップ」 学習指導要領解説特別の教科道德 (教) 竹田契一・上野一彦・花熊暁監修「S. E. N. S養成セミナー 特別支援教育の理論と実践【第3版】Ⅱ 指導」金剛出版 (参) 武藏博文・惠羅修吉監修「エッセンシャル 特別支援教育コーディネーター」大学教育出版			
オフィスアワー 随時			
履修上の注意・担当教員からのメッセージ 道德科に関しての「何でも質問タイム」も確保したいので、事前に質問がある場合は考えておく。			